

2023年度 事業計画

1 事業実施の方針

今年度は、団体設立から10周年を迎え、11期目に入る。10月1日(日)に記念行事を行いたいと考えている。

関東大震災100年を迎えて、横浜国立大学を会場に開催される『ぼうさいこくたい2023』（防災推進国民大会）に参加して、団体の活動を広報する。広域連携については、災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ（以下みんな）として、学校防災についてはかながわ311ネットワークとして、マンション防災については複数の団体と連携して、出展準備を進めている。（出展の可否は、6月に判明する。）

1) 災害教育・防災教育事業

団体独自の基本の活動として、地域防災力向上のために、学校における、教員、児童、生徒向けの防災教育事業と、避難所運営や、在宅避難に備えたマンション防災などの地域防災事業を行う。

2) 広域連携

大規模災害に備えた神奈川の広域連携の枠組み作りについては「みんな」として取り組みを進めていく。今年度は神奈川県基金21協働事業負担金対象事業の最終年度としても採択され、基金終了後に向けた、組織基盤の整備や強化にも取り組んでいく。昨年度同様、石田理事が防災教育事業を担いつつ、「みんな」の事務局長としての職務も担当する。

3) 東北応援

東日本大震災から12年、私たちの活動のルーツである東北の応援はできる形で継続していく。

4) 組織基盤の強化

増加する依頼に対応するため、スタッフ・講師の育成に努め、事務局員も増強する。各所からの依頼に真摯に答えていくだけでなく、ホームページ等での情報発信、団体紹介資料の充実などを行っていく。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 災害復興支援事業

災害復興支援事業は、緊急支援と、大規模災害に備えた神奈川の広域連携の枠組み作りを行う。

①-1 緊急災害支援

緊急災害支援活動時は積立金、寄附金、助成金を充当する。

災害が発生した場合には、「災害支援チェックシート」に沿って、活動内容を検討・決定する。災害支援については、みんなな準備会議と連携して、災害ボランティアセンター立ち上げ支援、避難所運営支援、後方支援活動などを中心に行う。

また、「かながわ災害救援ボランティア活動支援室」登録団体、かながわ県民活動サポートセンター、神奈川県社会福祉協議会、神奈川県共同募金会などで構成する「支援プロジェクト」とも連携して活動を行う。

内容
1. 緊急災害支援 緊急支援積立金 100万円 災害VC立ち上げ支援、避難所運営支援、後方支援活動など。

①-2 広域連携

大規模災害に備えた神奈川の広域連携の枠組み作りについては、県、社協、中間支援団体などと連携しながら、「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ」として準備を進めていく。

内容
1. みんな 広域連携の活動はみんななを基盤に、以下の活動を行う。 (1) 災害時情報共有会議の枠組みづくり (2) 市町村における災害時連携体制の構築支援 (3) 災害時の連携推進のためのフォーラム等の開催 (4) 県内の多様な主体とのネットワークづくり (5) 災害時中間支援機能の強化・整備
2. その他 災害ボランティアや災害時広域連携等に関する講師

②災害被災地との観光交流支援事業

「1/10Fukushimaをきいてみる」上映会をチーム。よいしょ金太郎。と共催。
次回は2024年1月14日（日）に開催。

③災害教育・防災教育事業

学校防災事業と、地域防災事業の二本立てで行う。

③-1 学校防災教育事業

学校防災事業については、学校での防災教育の推進をはじめ、指導者育成のための「防災教育ファシリテーター養成講座」、防災教育実践事例発表および研修の場としての「防災教育フォーラム」、情報発信の場としての「かながわ子ども防災情報ステーション」がそれぞれに機能し相互補完できるよう、事務局員を増やし強化していく。『ぼうさいこくたい2023』への出展を視野に、他団体や学校との連携を深める。

神奈川県共同募金会「NHK歳末たすけあい配分金」、真如苑「Shinjoプロジェクト」他を充当

内容
1. 学校防災事業構築と相談業務 ・各種講座に関する相談対応 ・特設サイトの運営 ・かながわ版防災教育プログラムの更新 ・『ぼうさいこくたい2023』出展
2. 学校での防災教育の推進 ・教職員研修 ・児童生徒への防災授業 ・PTAなど保護者向けの研修・講話 ・学校と地域住民の合同研修
3. 防災教育ファシリテーター養成講座（初級編はコミカレ主催講座として実施） <1>7/8,15,22,29 初級編13期@横浜 全4回 8/5,19,26,9/2 初級編14期@小田原 全4回 <2>10月～11月 上級編8期@横浜 全4回
4. 防災教育フォーラム（3月第1土曜開催予定） ・学校での取り組み発表 ・ファシリテーターの活動発表 ・講演 ・パネルディスカッション

③-2 地域防災事業

横浜市・各区からの受託によるマンション防災講座、地域防災拠点の運営力強化、自治会の防災力強化のための講座、研修を行うと共に、防災啓発リーフレットを活用した地域防災と団体活動の広報活動を積極的に行う。

『ぼうさいこくたい2023』には、神奈川県マンション管理士会、横浜マンション管理組合ネットワーク、横浜プランナーズネットワークと協働で4団体で出願中。

今年度は自主講座として、マンション防災オンライン講座を行う。講師陣を増強するために、内部研修の機会を増やす。

内容
1. 地域防災事業構築と啓発 ・横浜市、各区、防災センター等との連携強化 ・kintoneを活用したシステム構築を充実 ・県サポでの防災啓発活動 市民活動フェア、支援室イベント等 防災リーフレット中心に活動訴求
2.リーフレット作成販売を通じた啓発活動 今年度「3日間を生き延びる」改版を予定 団体紹介チラシとの分離をはかり、事前の準備を強調した内容に修正。 ・防災リーフレットを活用した啓発活動 今期 @20 10000部配布予定 ・横浜市外版の作成 制作費当団体持ち、印刷費先方持ちで、葉山災害ボランティアネットワークバージョンを作成予定
3. 行政からの受託事業 横浜市防災減災推進研修支援編 70回 横浜市 拠点、町防集合研修 14回 防災力向上マンション認定制度アドバイザー 15回 戸塚区防災アドバイザー 25回 旭区防災集合研修8回 神奈川区地域防災拠点研修 3回 ・他 20回程度
4. 地域防災啓発 ・地区センター等講座受託 3回 ・NPO向け研修 2回 ・マンション防災フォーラムは今年度も継続して実施 ・『ぼうさいこくたい2023』参加予定
5. マンション防災自主講座 ・オンライン講座開催 5~6月 全5回
6.自主防災組織サポートその他研修事業 ・定期支援 ・マニュアル作成相談 ・防災講座等 2件 ・東京防災など講師派遣など

④災害情報活用事業

他事業の円滑運営のための下支えを行う。そのために防災活動に活かせるITスキルの情報収集を継続する。

かながわ災害情報連絡会を通じてICTを防災に活かす普及活動を行う。

内容
依頼に応じてIT活用講座などを実施 各種研究会などに参加してのネットワーク作り

⑤産業復興支援事業

各事業イベント等との連携の中で可能であれば東北食材の応援販売などを実施する。特に予算化は行わない。